

## 2015年9月ドミニカ共和国内政、外交、経済定期報告

2015年10月20日  
在ドミニカ共和国日本国大使館

### 1 内政

(1) 6日、フィデル・サンタナFA（小政党の拡大戦線（Frente Amplio））大統領候補は、2016年大統領選挙への出馬を取り消し、ルイス・アビナデルPRM大統領候補を支持すると表明した（注：FAは、2012年大統領選挙における有効得票率0.14%、国会議員数0の、小政党である）。

(2) 7日、与党PLDと最大野党PRDは、メディーナ大統領とミゲル・バルガスPRD党首の署名をもち、要点以下のように合意した。

ア PLDとPRDは、2016年に実施される総選挙に際し、大統領選挙、国会議員選挙、地方議員選挙に共通候補を出す。

イ ミゲル・バルガスPRD党首が、PRDから擁立する立候補者を決定する。

ウ 連立政権へのPRDの参加の形は、両党の合意によって決定される。

(3) 8日、ギジェルモ・モレノ党首が率いる国民同盟党（Alianza Pais）は、中央選挙委員会（JCE）により政党登録を承認された。

(4) 8日、内務警察省は、不法移民正常化計画に登録された、10万人以上の外国人に身分証を交付したと発表した。

### 2 外交

(1) 13日、セルゲイ・ラヴロフ・ロシア外相とマルガリータ・セデーニョ副大統領は、モスクワで会合を行い、ドミニカ（共）国民が観光を目的としてロシアに入国する際のビザ要件を撤廃することに合意した。

(2) 14日、ハイチ経済・財政省は、密輸取締りを理由にドミニカ（共）からの23品目の陸路輸入を禁止する旨発表した。

(3) 16日、ドミニカ（共）政府は、ハイチによるドミニカ産品23品目の陸路輸入規制に反発し、ルベン・シリエ駐ハイチ・ドミニカ（共）大使を召還し、更に、他の外交的措置をとる可能性がある旨発表した。

(4) 17日、ドミニカ（共）外務省は、ハイチによる陸路輸入規制を批難する概要以下の公式声明を発表した。

ア ハイチによる右輸入制限は、2014年に両国の間で署名された2国間合意の一部（両国は、商取引に関する規定を施行する前に、これを関係省庁に通知する）に反する。

イ 同措置は、ドミニカ（共）とハイチの両国が加盟しているWTOの以下の

規定に違反する。第1条：一般的最恵国待遇，3条：(内国の課税及び規則に関する)内国民待遇，第5条：通過の自由，第11条：数量制限の一般的廃止。

ウ この両国の地上輸送を制限する措置は，ハイチと国境を接する唯一の国であるドミニカ(共)を，WTO(加盟国)で唯一，差別する結果となる。

エ ハイチ経済・財政省によって発表されたこの決定により，ハイチ政府は，二国間の対話や協力関係を更に困難なものとするだろう。

(5) 24日より29日の間，メディーナ大統領は同大統領夫人，ナバロ外相他とともに，国連総会出席のためニューヨークを訪れた。この間メディーナ大統領は，国連開発サミット(26日)及びジェンダー平等と女性のエンパワメントに関するグローバル・リーダー会合(27日)においてスピーチを行うとともに，29日には第70回国連総会において一般討論演説を行った。

この他，26日にSICA諸国首脳との会合に出席，27日にはニューヨークのドミニカ(共)コミュニティーとの行事に参加した他，CELACカルテット(エクアドル(現議長国)，コスタリカ(前議長国)，ドミニカ(共)(次期議長国)，バルバドス(カリブ代表国))との首脳会合に参加した。また，25日の国連におけるローマ法王のスピーチにも出席した。

(6) 28日，テミストクレス・モンタス経済企画開発大臣は，ブラジル協力協会(ABC)と，当国に対する教育，保健，障がいに関する技術協力に署名した。

### 3 経済

(1) 17日，ホセ・デル・カステージョ商工大臣は，ハイチによるドミニカ産品23品目の陸路輸入規制が1年続くと，輸出セクターへのインパクトは約500百万ドルになる旨述べた。

(2) 23日，閣議は，2016年一般会計予算案を承認した。同予算案は663,558百万ペソとなり，前年を32,624百万ペソ上回った。

(3) 23日，メディーナ大統領は，2014年及び2015年の低価格住宅の最高価格を240万ペソに固定する大統領令268-15を発した。

(4) 29日，エステベス農務大臣は，EU食品獣医局(FVO)が，ドミニカ(共)からEUへ向けた蜂蜜の輸入禁止措置を解除したと述べた。

(別添1) 経済指標

(了)